



月島ホールディングス株式会社

証券コード:6332

# 会社説明資料

---

2026年8月28日

Adobe Stock

## 1. 会社概要、当社事業の強み

## 2. 中期経営計画、業績の推移・予想、 キャピタルアロケーション

## 3. 株価動向、株主還元方針

### 【用語集】

- EPC …プラント・機器の設計、調達、建設(Engineering、Procurement、Construction)
- O&M …設備の運転管理、補修工事、部品供給などのアフターセールス(Operation & Maintenance)
- PFI …公共施設等の設計、建設、維持管理および運営に、民間資金とノウハウを活用し、効率的な公共サービスの提供を図る方式  
(Private Finance Initiative)
- DBO …PFIに類似した事業方式の一つで、公共が資金調達を負担し、設計・建設、運営を民間に委託する方式(Design Build Operate)

## Section 1

# 会社概要、当社事業の強み

|         |                                        |
|---------|----------------------------------------|
| 商号      | 月島ホールディングス株式会社                         |
| 代表取締役社長 | 川崎 淳                                   |
| 創業・設立   | 1905年(明治38年)8月 創業<br>1917年(大正 6年)5月 設立 |
| 所在地     | 東京都中央区晴海三丁目5番1号                        |
| 資本金     | 6,646百万円                               |
| 発行済株式総数 | 40,125,800株                            |
| 1単元の株式数 | 100株                                   |
| 従業員数    | 3,367名(連結)、105名(単体)<br>(2026年3月末現在)    |

## パーパス 「環境技術で世界に貢献し未来を創る」

- 120年続くモノづくり企業  
(機械、エンジニアリング会社)
- 技術で産業の発展と環境問題の解決に貢献



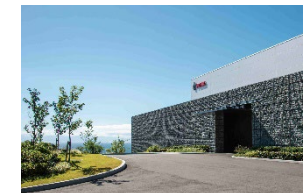
本社  
(東京都中央区)



R&Dセンター  
(千葉県八千代市)



月島機械 室蘭工場(北海道室蘭市)

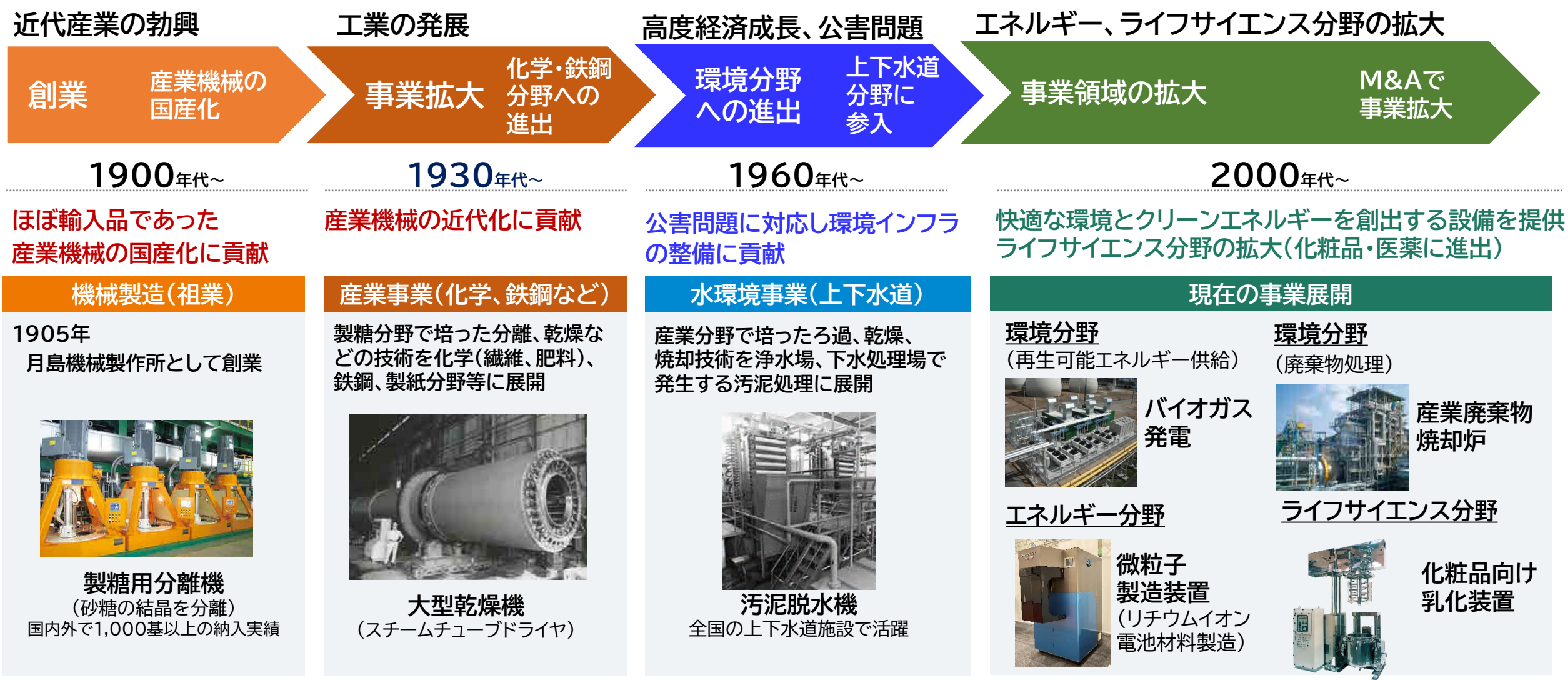


プライミクス 本社・工場(兵庫県淡路市)



三進工業 本社・工場(神奈川県川崎市)

● 産業機械の近代化と、公害問題の対応に貢献。近年は、M&A等で事業拡大



## 月島ホールディングス株式会社

### 水環境事業

快適な水環境を提供する上下水道などの  
水インフラや、運転管理などのサービスを提供

#### 水インフラ

浄水、下水処理施設などの機器・プラント

浄水場や  
下水処理場に  
機器、プラント  
を納入



汚泥脱水機  
(浄水場)



脱水乾燥システム  
(下水処理場)

#### ライフサイクルビジネス

浄水、下水処理設備などの運転管理、メンテナンス

- 自治体から、浄水場、下水処理場の  
運転管理やメンテナンスを受託  
(全国約160カ所)
- 安定収益として、業績に寄与



設備の  
メンテナンス

### 産業事業

豊かで快適な暮らしを支える素材を作る  
機械・プラントやメンテナンスなどのサービスを提供

#### 産業インフラ

化学、エネルギー、食品、化粧品などの分野の  
機器（乾燥機、ろ過機、攪拌機など）、プラント



乾燥機



海外プラント

電気自動車向け  
リチウムイオン電池の  
材料を作る機械も製造

#### 環境

廃棄物の焼却設備、廃ガス・廃水処理設備

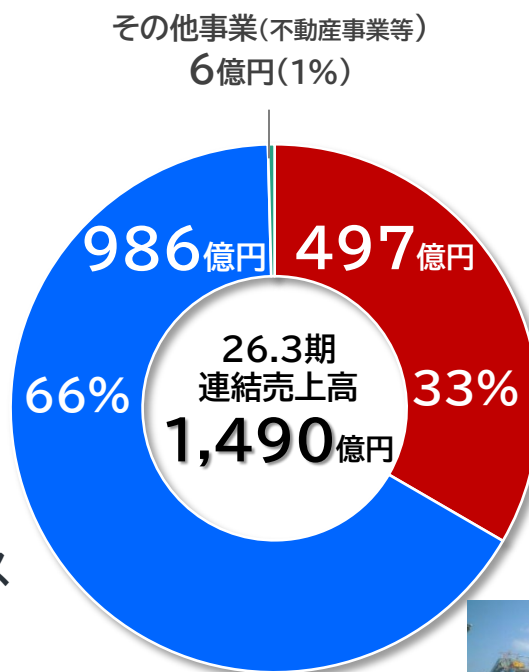


固形物焼却設備



廃水処理  
(アンモニア回収設備)

- 液体や固体状の産業廃棄物を  
焼却する設備で高いシェア
- 半導体工場の廃水処理にも対応



開発・設計から、製造・建設、運転管理、事業運営まで、グループ会社で一貫して手掛けることができるバリューチェーンを保有

## 開発

- 研究開発
- 顧客が立ち合いテスト実施



R&Dセンター

## EPC 『エンジニアリング』

- 営業、計画
- 設計、調達、建設



## 製造 『ものづくり』

- 製造



グループ会社工場 など

## O&M 『アフターセールス』

- 運転管理、補修



## EPC+O&M 『事業運営』

- 事業運営



廃棄物処理事業



バイオガス  
発電事業

競争力の源泉となる  
新商品を開発

- 各種テスト機を保有、ラボ実験、パイロット試験に対応
- **主要製品は、自社開発**

当社グループの屋台骨  
M&Aで事業領域を拡大

主力製品は  
自社設計・製造

アフターセールス・事業運営は安定収益源  
(ストックビジネス)

- 【水環境事業】自治体より、浄水場、下水処理場、し尿処理場などの運転管理、メンテナンスなどのアフターセールスを受託
- PFI、DBOやバイオガス発電などの官民連携の事業期間は20年間。長期安定的なビジネスモデル
- 【産業事業】納入した設備のメンテナンス、消耗品などのアフターセールスを提供

⇒ **これらは、ストックビジネスとして安定的に収益貢献**

# 当社事業の強み 水環境事業

当社納入機器は  
日本の汚水処理量  
の約1/3に貢献

アフターセールス  
(安定収益)

月島ホールディングス

※シェアは当社調べ

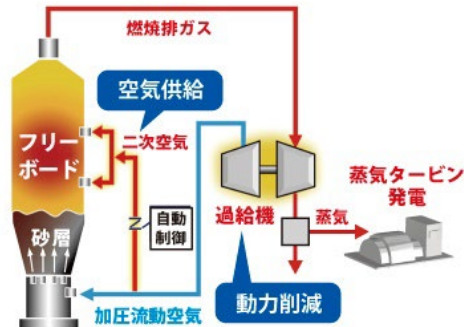
## 水インフラ 浄水、下水処理施設などの機器・プラント

- ・浄水場、下水処理場等の污泥処理で**豊富な実績**  
「**污泥処理のトップメーカー**」としてのブランドの確立  
(脱水/乾燥/焼却)・・・下水污泥焼却炉は国内トップシェア(約3割)
- ・2023年10月にJFEエンジニアリングの国内水エンジニアリング事業を統合
- ・**地球温暖化防止、資源循環に貢献**する技術を豊富にラインナップ
- ・海外の上下水道プラント、機器も展開

## ●地球温暖化防止に貢献する技術、事業

### 創エネルギー污泥焼却炉

2023年の事業統合により、JFEエンジニアリングと当社の污泥焼却技術を融合した焼却炉。  
温室効果ガス排出量を100%削減可能



### バイオガス発電事業

国内  
トップシェア

下水污泥をメタン発酵した際に発生する  
バイオガスを利用した発電事業

発電能力:  
一般家庭の約3万2,500世帯分



### 下水污泥燃料化事業

国内  
トップシェア

下水污泥を再生可能エネルギーとして利用  
可能な燃料に変換し、ボイラなどで活用

CO<sub>2</sub>削減量:  
一般家庭の約4万世帯分



### 下水からのリン回収

日本は、肥料原料となるリンを  
輸入に依存。肥料の国産化・  
安定供給のために、下水からの  
リン回収を実証試験中



## 産業インフラ 化学・エネルギー・食品・鉄鋼分野向けのプラント、機器

- ・プラントは、化学・食品分野を中心に多数の実績あり
- ・機器は、多種多様な製品を国内外に展開

## 環境 廃棄物の焼却設備、廃ガス・廃水処理設備など

- ・液体もしくは固体状の産業廃棄物を処理する焼却設備を扱う
- ・半導体分野では、工場廃水中のアンモニア回収・処理に対応

近年は、技術共通性の高い会社を積極的にM&A ⇒ 事業領域を拡大

月島環境エンジニアリング(株)  
(2005年 旧日鉄化工機(株))  
(2014年 旧大同ケミカル(株))

BOKELA  
(2014年 [ドイツ])

三進工業(株)  
(2017年)

プライミクス(株)  
(2020年)

焼却・廃ガス処理・廃水処理

ろ過機

建設・補修工事

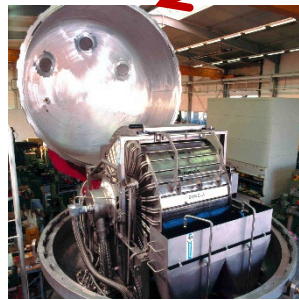
高速攪拌機

## ●納入事例

化学



ペットボトルや衣類の原料となる樹脂の乾燥(乾燥機)

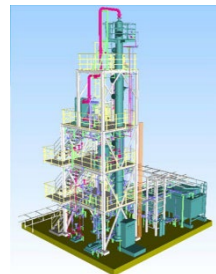


ろ過が難しいスラリーに対応(ろ過機)

環境



国内トップシェア  
処理の難しい廃液を燃焼処理(廃液燃焼)



半導体製造工場廃水のアンモニアを回収、処理(廃水処理)

化粧品・医薬



乳液、シャンプー、リンスなどの化粧品の製造(高速攪拌機)

食品



砂糖の結晶を分離する機械(遠心分離機)

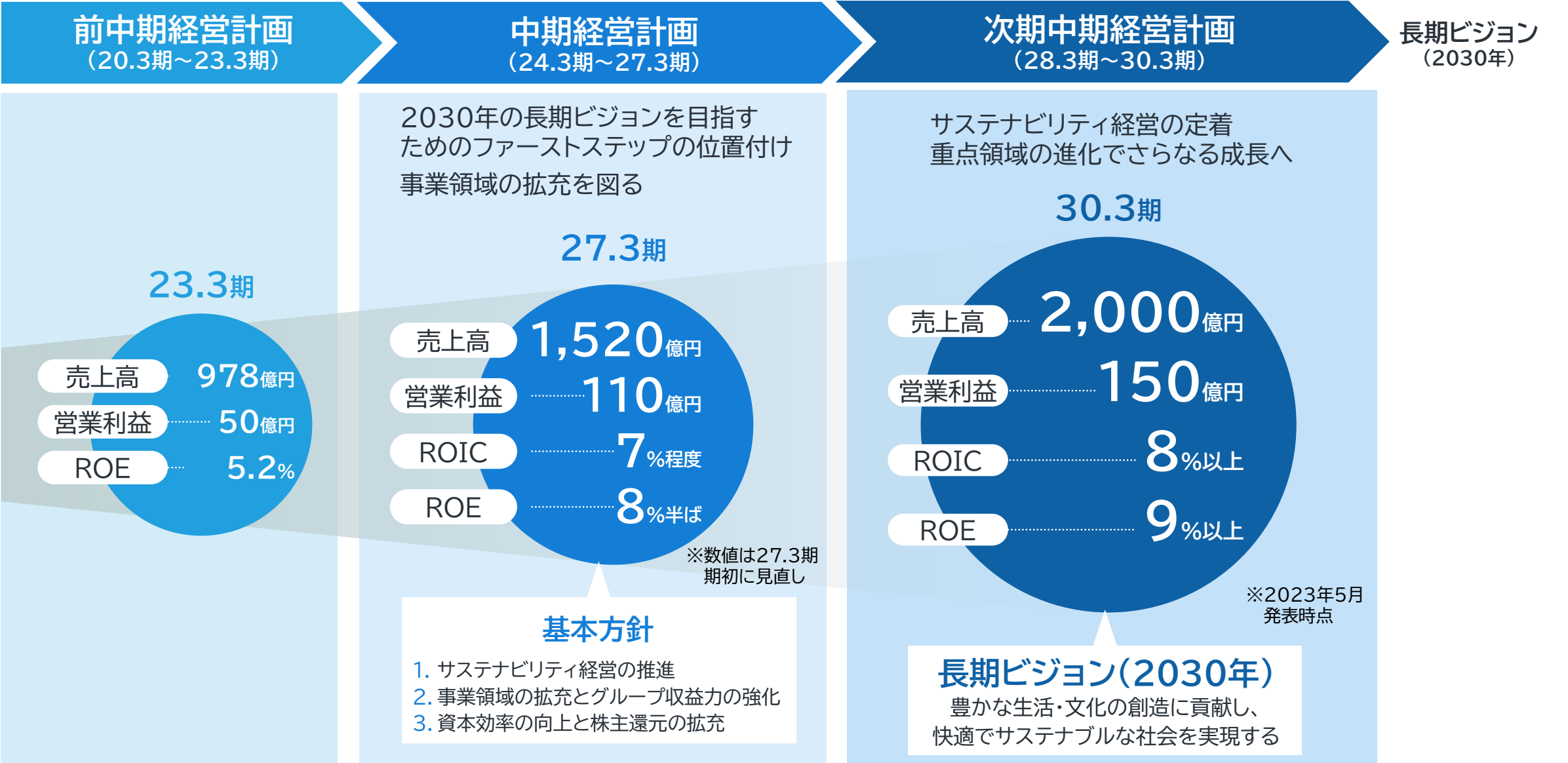
自動車



電気自動車向け電池の材料を作る機械(晶析装置)

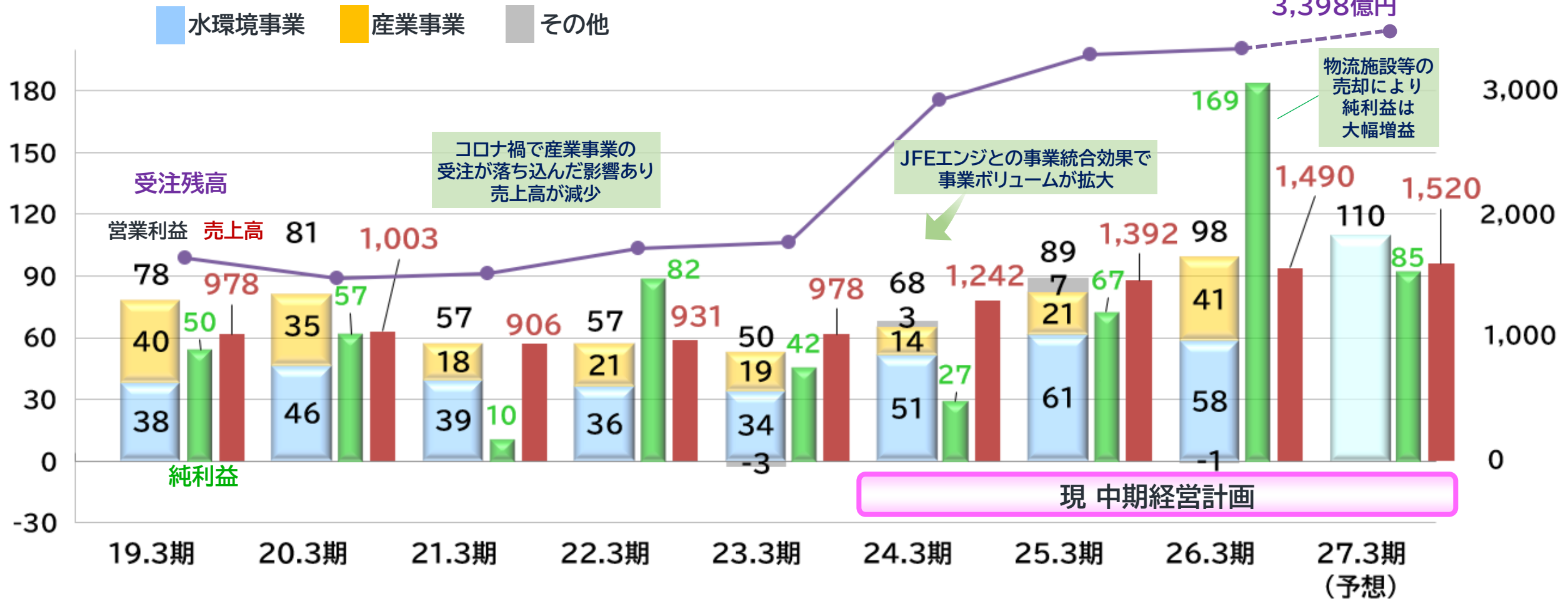
## Section 2

# 中期経営計画、業績の推移・予想、 キャピタルアロケーション



営業利益、純利益  
【単位:億円】

売上高、受注残高  
【単位:億円】



## 受注高、売上高、営業利益は、過去最高を目指す

- 受注高は、水環境事業の大型案件、産業事業も好調を維持し、増加
- 売上高は、両事業ともに受注済み案件の進捗により、増収
- 営業利益は、水環境事業の増益が寄与し、増益
- 当期純利益は、前期の物流施設売却益の解消により、減益

| 【単位:億円】         | 26.3期 実績 | 27.3期 予想 | 増減    |
|-----------------|----------|----------|-------|
| 受注高             | 1,542    | 1,900    | +358  |
| 受注残高            | 3,235    | 3,615    | +380  |
| 売上高             | 1,490    | 1,520    | +30   |
| 営業利益            | 98       | 110      | +12   |
| 営業利益率           | 6.6%     | 7.2%     | +0.6% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 169      | 85       | △84   |

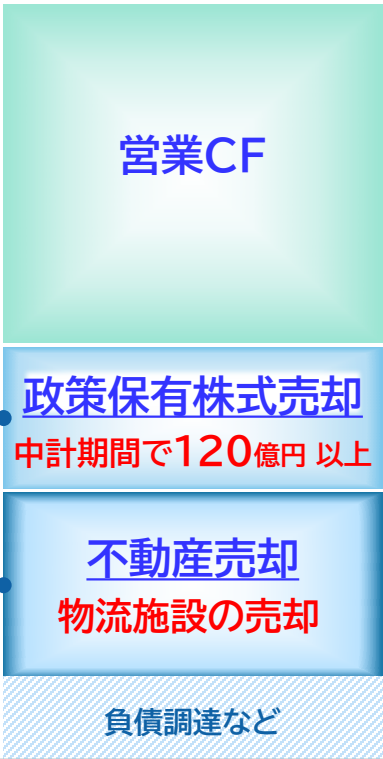
# キャピタルアロケーション(4年間累計)

- 非事業用資産売却・・・不動産(物流施設)は売却済、政策保有株式の売却を推進
- 得られたキャッシュを、株主還元や戦略投資、M&A、人的資本投資などに活用

## 財務規律

|        |          |
|--------|----------|
| 自己資本比率 | 40～50%程度 |
| D/Eレシオ | 0.8以内    |
| 手元現預金  | 月商2倍確保   |

### キャッシュイン



### キャッシュアウト



・売却実績(3年間)  
93億円

・物流施設の売却  
譲渡価格 217億円  
譲渡益 120億円

・投資額(3年間) 57億円

・自己株式取得実績(3年間) 139億円  
⇒26.3期は128億円(約430万株)を取得  
・配当総額 実績(3年間※) 86億円  
※26.3期 期末配当を含む

・研究開発投資、人的資本投資、DX・IT関連  
投資額(3年間) 143億円

・東日本エンジニアリングの買収  
(水処理、下水処理施設の運営管理会社)

[自己株式消却]  
26.3期に400万株の  
消却を実施

[DX,IT投資の実績]  
上下水道施設などの  
集中監視センターを新規開設  
(月島JFEアクアソリューション㈱)



※外部から資金が必要の場合は  
負債調達など柔軟に対応

## Section 3

# 株価動向、株主還元方針

## 株価の動向

1単元の株式数

100株

株価[円]



## 株主優待

保有株式数に応じて、新米(魚沼産こしひかり)を進呈

500株以上1,000株未満

ご所有の株主様 **2kg**

1,000株以上

ご所有の株主様 **4kg**

対象:

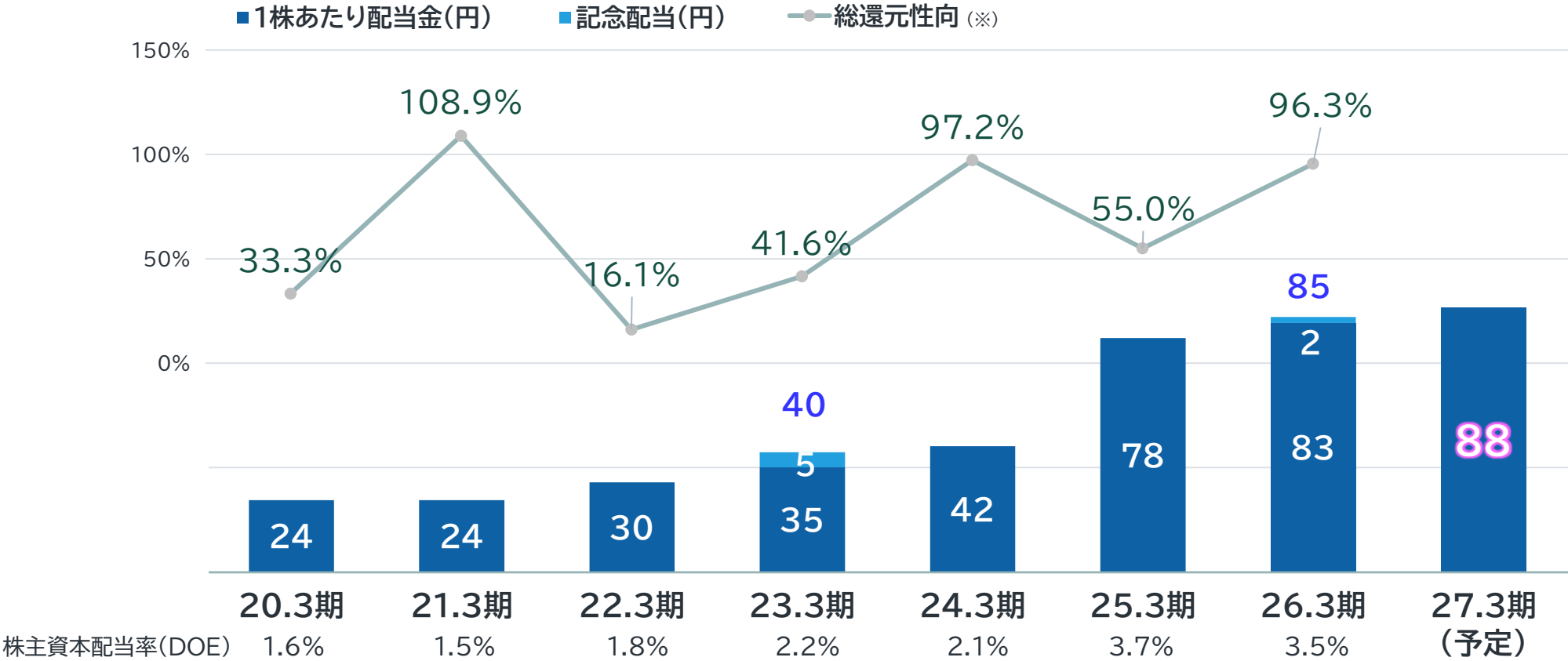
- 毎年3月末日の株主名簿において、500株以上1,000株未満もしくは1,000株以上ご所有の株主様
- 上記株主様を除き、4月以降に当社株式を新規若しくは追加でご取得され、9月末日において合計して500株以上1,000株未満もしくは1,000株以上ご所有の株主様

3年以上継続して1,000株以上ご所有の株主様に対しましては、さらに2kgを追加



- 株主還元方針 「安定配当の水準は、DOE 3.5%を下限とし、総還元性向50%以上」
- 26.3期の配当については、1株当たり 83円 + 記念配 2円 = 85円
- 27.3期の配当については、引き続き安定的な配当と継続的な増配に努め、1株当たり 88円 を予定

(※)(期中平均株式数×配当金額+自己株式取得金額)÷当期純利益



## お問い合わせ先

月島ホールディングス株式会社 広報・IR部  
〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目5番1号  
TEL: (03)5560-6503

ホームページ : <https://www.tsk-g.co.jp>

IR情報ページ : <https://www.tsk-g.co.jp/ir/>

1. 本資料に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。従い、その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。